

## 第6学年 外国語活動指導案

6年1組2組3組 計12人(男子10人 女子2人)

指導者 CT 内山瑞典

ST 内田佳菜, 南拓人, 焼山祥子

### 1 単元名 We are good friends.

### 2 単元目標

	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	主体的に学習に取り組む態度
1 段階	簡単な指示を聞いて, 教師や友達と一緒に動く。	教師と一緒に好きなものを選び, ジェスチャーや具体物を使って表現する。	英語劇の雰囲気を感じながら, 教師や友達と一緒に活動する。
2 段階	これまでに学習した単語を使って, 思いを表現しようとする。	好きなものを選んで, 英語にジェスチャーを交えて伝えようとする。	英語劇の雰囲気を楽しみながら, 好きなものを伝えようとする。
3 段階	これまでに学習した表現を使って, 思いを伝えようとする。	好きなものや活動を考え, 相手に伝わりやすい工夫をする。	英語劇のあらすじを理解して, 登場人物を演じようとする。

### 3 単元について

#### (1) 単元の位置付けとねらい

本グループは, 知的障害学級の児童11人と, 肢体不自由学級の児童1人で構成されている。児童は2学期までの学習で, 好きなもの(食べ物やスポーツ)や, 一日の簡単な日常生活動作の表現を学習している。朝の会の健康観察でも, 自ら英語で答えようとする児童もおり, 外国語への興味・関心は高い。一方で, 日頃のコミュニケーションでは, 経験量の差や緊張感, 恥ずかしさから挨拶をされると下を向いてしまう児童や, 意見を求められると話すことを躊躇してしまう児童もいる。

以上の実態を基に, 本単元「We are good friends.」を設定した。この学習は, 英語劇をとおして, 自分の思いが伝わりやすいように工夫して表現することをねらいとしている。そこで, 童話「おおきなかぶ」の中に, これまで学習してきた表現を用いて, 自分の思いを表現する場面を設定する。児童には本単元を通して, 相手に自分の思いを伝えることの大切さや必要性, 伝わることの喜びを感じてほしいと考える。

#### (2) 単元における学びの視点

主体的な学び	かぶなどの小道具を用意して, 体験的に動きながら表現をできるようにすることで, 外国語の表現に親しめるようにする。
対話的な学び	友達の発表に対して, 称賛などの応答を返すように言葉掛けをすることで, 児童が自分の伝えたいことを自信をもって表現できるようにする。
深い学び	劇の練習の中で, 児童のセリフや発表に対して, 感想を伝えることで, 児童が相手に伝わりやすい表現方法を, 考えたり, 工夫したりできるようにする。

### 4 指導計画

※ 単元シートの「指導計画」を参照してください。

5 本時

単元・題材名	We are good friends.	時数	4 / 5	チーフ	内山	期日	令和2年 2月 14日(金) 3校時	場所	6年1・2組
目標	本時の重点項目	□知識及び技能		☑思考力, 判断力, 表現力等		☑主体的に学習に取り組む態度			
	【1段階】 教師と一緒に英語劇の雰囲気慣れ親しむ。 【C児】	【2段階】 自分の好きなものを選び, 英語やジェスチャーで伝えようとする。 【B児, E児, F児, G児, H児, K児】	【3段階】 見ている人に伝わりやすい工夫を考えて, 表現しようとする。 【A児, D児, I児, J児, L児】						
学習の流れ	主な学習活動	本時における学びの視点			指導上の留意点				
	1 始めの挨拶をする。 2 本時の学習内容を確認する。 みんなの物語を完成させよう。 3 単語の確認とチャンツをする。 4 前時の学習を振り返り, 本時の物語の内容を知る。 5 グループごとに分かれて劇の練習をして, 撮影する。 6 振り返りをする。 7 終わりの挨拶をする。	【主】 言葉に合わせて動き(ジェスチャー)を取り入れ, 表現に慣れ親しむことができるようにする。 【主】 物語のあらすじやこれまでの学習の流れを掲示し, 見通しをもって学習に臨めるようにする。 【対】 単語にジェスチャーを付けて, 児童がお互いの伝えたいことが分かるようにする。 【深】 児童のセリフや発表に対して, 反応を返すことで, 伝わりやすいような発表を考えたり, 発表できたことの達成感を感じたりできるようにする。	○ ローマ字の出席カードを用意し, 今日の調子を選んで貼らせることで, 学習への意欲を高めるとともに, 児童がアルファベットに触れる機会をつくるようにする。 ○ イラストを使って, 動きや表現のイメージをもてるようにする。 ○ 前時に撮影したものを視聴して, 学習への意欲を高めるようにする。 ○ 二つの教室に分かれて練習や撮影を行い, 学習に集中できるようにする。 ○ 児童が声をそろえて話すセリフを設定し, 言葉の出にくい児童も自信をもって, 外国語を言えるようにする。 ○ 次時に, これまで撮影したものをつないだ英語劇を見ることを伝え, 意欲を高めるようにする。						
場の設定	1~4・6・7	黒板	5	・Aグループ F J K I B C・・・6-1教室 ・Bグループ H G A E D L・・・6-2教室にてそれぞれ活動。					
	F J K I B C H G A E D L								

